

Hear The Wind Sing. Pinco, 1973. A Wild Sheep Chase. Hard-Boiled Wonderland and the End of the World. Norwegian Wood. Dance Dance Dance. Soul on Ice. 1988. The Wind-Up Bird Chronicle.

AV室展示

映画『ドライブ・マイ・カー』各種映画賞受賞記念



Haruki
Murakami

村上春樹の

音楽をめぐる冒険

村上作品の中に登場する楽曲のCDを集めてみました。
作品を読みながら聴いてみませんか？

愛知県図書館1階 AV 室

2022.3.17.Thu. ▶ 6.8.Wed.

Hear The Wind Sing. Pinco, 1973. A Wild Sheep Chase. Hard-Boiled Wonderland and the End of the World. Norwegian Wood. Dance Dance Dance. Soul on Ice. 1988. The Wind-Up Bird Chronicle. Kafka on the Shore. After Dark.

村上春樹の

音楽をめぐる冒険

村上春樹氏原作の映画「ドライブ・マイ・カー」がアカデミー賞始め数々の国内外の映画賞を受賞しました。それを記念して展示を開催します。

村上作品には、作中に多彩な楽曲やアーティストが登場するという特徴があります。村上氏自身、学生時代からさまざまな音楽に親しみ、趣味が高じて作家になる前にはジャズ喫茶まで経営していました。長年にわたって収集したレコードのコレクションを背景に、ジャズやクラシックなど音楽についての様々な本も書かれています。現在毎月一回、東京FMで「村上RADIO」というラジオ番組でディスクジョッキーまで務めています。村上春樹氏と音楽とは切っても切れない関係にあると言えます。

今回の展示では、そんな村上作品に登場する楽曲のCDを集めてみました。



「リクエストは、ピーチボーイズの〈カルフォルニア・ガールズ〉、なつかしい曲だね。どうだい、これで見当はついた？」
 (「風の歌を聴け」より)

「第三機動隊が九号館に突入した時にはヴィヴァルディの『調和の幻想』がフル・ボリュームで流れていたということだが、真偽のほどはわからない。」
 (「1973年のピンボール」より)

「ブルース・スプリングスティーンが『ハングリー・ハート』を歌った。良い歌だ。世界もまだ捨てたものではない。」
 (「ダンス・ダンス・ダンス」より)



「天吾とふかえり、まるでソニーとシェールみたいだ。最強のデュオ。ビート・ゴーズ・オン。」
 (「1Q84」より)

「僕は彼女を抱きながら、いったい何度パーシー・フェイスの『夏の日の恋』を聴いたことだろう。」 (「女のいない男たち」より)

「彼がベートーヴェンの弦楽四重奏曲を好むのは、それが基本的に聴き飽きしない音楽であり、しかも聴きながら考え事をするのに、あるいはまったく何も考えないことに、適しているからだっただ。」
 (「ドライブ・マイ・カー」より)



愛知県図書館

<交通案内>

【地下鉄】鶴舞線又は桜通線「丸の内」下車後、8番出口から徒歩5分

【市バス】幹名駅1系統・名駅14系統「愛知県図書館」下車、徒歩3分

【名古屋観光ルートバス「メーグル」】「四間道」下車後、徒歩3分

※駐車場は有料です。台数に限りがありますので、公共交通機関での来館にご協力をお願いします。

